

海外の安全基準への適合をうたう 自転車用ヘルメット

- 海外の安全基準（EN1078）への適合をうたっているが、同基準を満たしていない銘柄がありました。
- 安全基準への適合マークと外観を確認し、疑問がある場合は販売元に確認しましょう。

【相談事例】

- 通販で安全基準マーク付きというヘルメットを購入したが、届いた商品には**マークがなかった**。

（60歳代、女性）



【テスト結果】

海外の安全基準（EN1078）への適合をうたうヘルメット6銘柄を調査した結果

- 3銘柄が、同基準の**衝撃吸収性の衝撃加速度を大きく超過**していました。
- 3銘柄が、同基準の**保持装置の強さ（あごひもの強度）の伸びを大きく超過**していました。
- 2銘柄が、同基準の**保持装置の性能（脱げにくさ）を満たしていません**でした。
- 同基準で**定める項目（サイズ、製造時期など）全てを表示していた銘柄はありません**でした。

【自転車用ヘルメットを選ぶポイント】

★ヘルメットは、安全が確認されたマーク表示があるものを使用しましょう。

※CPSCなど、他にも安全基準が存在します。



JISマーク



SGマーク



JCF公認マーク



JCF推奨マーク



CEマーク
(EN1078)

★以下の特徴が1つでも当てはまると、安全に関する規格・基準を満たしません。

